

2年生スピーチコンテスト

10月4日（水）放課後、視聴覚室にて、2年生のスピーチコンテスト本選が行われました。
各クラスから選ばれた24名が出場し、それぞれの思いや主張を発表しました。聴衆として、1年生から3年生まで、50名弱の生徒が参観に来てくれました。

最優秀賞は東蓮太朗くん（5組）「The Fading of Cultures」。優秀賞が川上夏希さん（3組）「Seeing the world from World Heritage Site」。3位に増田慧子さん（3組）「Let's do Origami」、清水達也くん（4組）「YouTube in Your Life」、上田彩葉さん（5組）「Sympathy and Affection」、甲斐歩野香さん（5組）「The Charm of YouTube」が入賞し、東くんと川上さんは10月21日（土）開催の京都府高等学校スピーチコンテスト南ブロック予選に出場する予定です。

原稿を書き始めたのは7月。担当の英語の先生の添削指導を受け、9月中旬にクラス内コンテストを実施。2年生全員がそれぞれ自分で書いた原稿を覚え発表しました。

今年、本選に出場したスピーチのテーマは、環境問題や人種差別、投票率の低下、いじめなど様々。また、YouTubeやSiri、アニメ、アイドルなど新しい文化を扱ったものや逆に文化の衰退をテーマとしたものもあり、時代の変化を敏感にとらえた内容でした。

内容だけでなく、アイコンタクトやジェスチャーなどパフォーマンス面でも優れていました。中にはアドリブを入れたり、聴衆に問いを投げかけたりと、全体を通じて非常にレベルの高いスピーチコンテストとなりました。

最優秀賞 東くん「まず、最優秀賞を受賞できたことはとてもうれしいです。練習には家族も協力してくれました。僕は、(全国大会に出場した)夏間君にあこがれて西乙訓高校に入学したので、ここからが本番だと思っています。まずは21日の南ブロック予選ですが、さらに上の大会を目指して頑張りたいです。」



2学期の予定

10月11日（水） 台湾研修旅行事前学習講演会
10月25日（水） 長期留学プログラム 生徒対象説明会
11月7日（火）～11日（土） 台湾研修旅行
11月8日（水）～13日（月） オーストラリア研修旅行
11月14日（火） アーリントン長期留学プログラム説明会
11月21日（火） 1年生レシテーションコンテスト本選

アーリントン・シャコピー高校

短期留学プログラム

説明会・選考会を経て、1年生希望者の中から、参加者が決定しました。シャコピーに8名、アーリントンに5名の生徒が参加します。来年度の訪問は、4月25日～5月5日の予定。

先輩インタビュー

特別企画として、西乙訓高校の卒業生に、大学での勉強や受験のこと、留学のこと等聞かせていただきました。

長尾 祐希さん（関西外国語大学英語国際学部1年）

平成28年度に卒業され、関西外大に進学。大学では、主に、英語と中国語の他、経済学や国際関係論などを勉強されています。毎日、朝から夕方6時過ぎまで授業を受け、早く終わる金曜日は塾で講師のアルバイトという生活。

長尾君「ほぼ毎日、小テストなどの課題があるので、想像していたよりも遊ぶ時間は削っています。たぶん、今までで一番勉強していると思いますね。」

大学のSpeakingの授業では、スピーチなどの課題もあるそうです。留学した時に、自分の意見をしっかりと発言するのに慣れるためにするものだそうです。大学では、このようなスピーチやプレゼンテーションをすることも求められます。長尾君は、その課題でクラス1位になったそうです。

アメリカ（来年3月～7月）、中国（同8月～翌1月）への留学を予定していて、語学や費用など、準備を進めているところ。大学の授業だけでなく、中国語の検定試験（HSK）の勉強をし、また、学外でも積極的に外国人とコミュニケーションを取っているそうです。

「夏に行った旅行先の宿泊施設で、イタリアやブラジルなど（英語圏以外の国）から来た人4人くらいと出会い、夜中に英語で語り合いました。お互いに外国語である英語で話すっていう経験もすごく刺激になりましたね。」

長尾君は、在学中、ガンマ（現在のグローバル）コースに所属し、アーリントン短期留学にも参加されました。

「実は、こういうの、全部、アーリントンから始まったんですよ。アーリントンでは、Good morning. で1日が始まり、学校へ行ったら現地の中学生や高校生と交流し、家に帰ったらホストファミリーと、まさに一日中英語漬けになってしまいますよね。それがなんか、全部、本当に『うおー！』って感じで（笑）シビれまくってました！あの時、アーリントン高校でシャドーイングをしたパディの男の子、今でも連絡を取り合ってますしね。」

大学受験について。

「関西外大の公募推薦をまず受けました。多分、受験勉強の仕方を間違えていたのと、もともと楽観的な性格で、受験当日もまあなんとかやるだろうと思って臨んだのが失敗の原因でしょうね。『これはマジでヤバいって』思いました。特に、この公募推薦で同じ大学を受けた友人は結構受かって行きましたから、本当に焦りました。毎日、あかんわって言っていました。

「公募が終わった時は最悪でしたけど、友達がいてくれたから一般まで頑張れたのだと思います。国公立組や私立一般組と、最後まで粘ってた人が周りにいて、学校で放課後遅くまで残って話ができたりしたのは本当に心の支えになりました。一緒に乗り越えたって感じでしたね。友達の実力は本当に大きかったです。」

先輩へメッセージ。

「大学に行って楽しみたいと思ったら、今頑張ることです。それと、合格したらこんなことをしようとか、具体的に目標を立てて、頭の中でイメージすることが何より大事です。そして、友達を大切にして、一緒に支え合える関係を作ることですね。あとは、（受験勉強として）シス単（単語帳）とアップグレード（文法・語法問題集）をしっかりとっておきましょう。」

※「シス単」と「アップグレード」は現在本校の教材としては扱っていません。単語帳はValueやユメタン、文法語法等の問題集は、「ヴィンテージ」です。